

論文要旨見本

楽理太郎(2019年度入学)

アカデミック・ライティング入門——学生のための雛形——

東京藝術大学楽理科提出論文に付す用紙の体裁には伝統的に定められた型があるという。しかし過年度に提出された論文の要旨を比較したところ、初稿提出段階では書式が統一されていないことが明らかになった。本来、楽理科提出論文の要旨は、論文本文と同様に『論文作成の手引き』に定められた書式の原則に則って執筆するべきである。

書式のばらつきが生じた原因を究明したところ、可能性の一つとして周知が不足していたのではないかという仮説が立つ。したがって本稿では、『論文作成の手引き』に則った書式を再度確認し、過年度に誤りの多かった点を抽出・整理し、正しい書式を示すことによって全体の統一を図る。

まず初めに、論文用紙の冒頭に氏名(苗字と名前の間にスペースなし)と入学年度を記さなければならない。入学年度は丸括弧に入れ、必ず「年度」まで記入する。修士以上の論文には英文要旨がつくが、英文要旨では名字を全て大文字とし、半角スペースをあけて名前(ファースト・ネーム)を記す。入学年度は記さない。

その次の行に論文題目を付す。このとき、和文・英文を問わず論文題目は括弧を付けずに記す。副題がある場合には二重ダッシュ——を副題の前後に付す。ただし英文要旨では二重ダッシュの代わりに題目の直後にコロンを記し、半角スペースあけて副題を記す。

要旨のいずれの段落も先頭行はインデント(一字)を行う。インデントはWordアプリケーションの「行間のオプション」コマンドで選択可能である。各段落の間に空行を入れてはならない。

調査の結果、提出者によってばらつきが特に多いのは数字の表記法だということがわかった。すなわち、全角と半角の違いである。英数字は半角を用いるのが原則である。具体的には、次の法則がある。

第一に、一桁のアラビア数字(1、2、3など)は全角とし、二桁以上は半角にする。第二に、日本語の単語の一部を成す場合は漢数字とする(「一部」、「二つ」、「第三に」など)。第三に、純粹に計数を表す場合はアラビア数字とする(「6曲」、「第5番」、「3年間」など)。要旨だけではなく論文本文中でも統一して用いるよう注意すべきである。

また英文題目では冠詞と前置詞以外の単語は頭文字を大文字にするよう求められる。

例年の傾向を観察すると、期間を記すときに用いる記号も差異が出やすい。和文と英文で表記法が異なるため、『論文作成の手引き』を熟読の上で記すこと。

上記の点を周知した結果、本年度は全ての提出論文において書式が統一された。

論文要旨見本

GAKURI Taro

Introduction to Academic Writing: The Model for Students

If you write the thesis submitted to Gakuri-ka, you must follow the *Guideline for Writing the Thesis* by Gakuri-ka. Surveying the abstracts submitted previous years (e.g. 2021 and 2022), some students did not write their abstracts according to that guideline.

You have to set tabs for each paragraph (about 5 full-width space). Without it, your abstract is difficult to read. Please make sure before submitting.

Tabs can be set by clicking the tab key on the left side of the keyboard. If you cannot find the key, the command “Tab Setting” (you can see the command by clicking “Line Spacing”), which you can find the ribbon above the screen. If you cannot find it, enlarge the window so that the command will appear in the middle of the ribbon. In addition, please avoid to make a space between paragraphs.

Make numeric characters half-width (you should also note the guideline particular for Japanese text). Please make sure how to write the range, consulting *Guideline for Writing the Thesis*.